

史跡東之宮古墳 講演会

今、何がわかってきたのか 「東之宮古墳と冬至の王」

白山平山の山頂に位置する、史跡東之宮古墳。なぜ、そのような場所に古墳を造ったのか。その答えは――

東之宮古墳の発掘調査に長年携わってきた赤塚次郎氏に、東之宮古墳の謎について語っていただきます。

とき **1月19日(日)**
午前10時～11時30分

ところ 丸山地区学習等供用施設集会室

東之宮古墳とは――

白山平山頂に位置し、3世紀後葉に造られた墳長72mの前方後方墳である。昭和48年の発掘調査で、後方部の埋葬施設から銅鏡11面をはじめ、石製品など多くの副葬品が出土し、それらは全て国の重要文化財となっている。昨年度には埋葬施設内部の再調査が行われ、40年ぶりに竪穴式石槨^{せっかく}内部のようすが明らかとなった。



講師

あかつか じろう

赤塚 次郎

氏（NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク理事長）



1954年、犬山市生まれ。 狗奴国論をはじめとした弥生・古墳文化を研究。東之宮古墳の発掘調査に携わり、史跡東之宮古墳整備委員会委員を務める。現在、(財)愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター副センター長。

■ 定員 100名 ※事前申込み不要、当日先着順

■ 参加費 無料

■ お問い合わせ 犬山市教育委員会 歴史まちづくり課
(TEL 0568-44-0354)

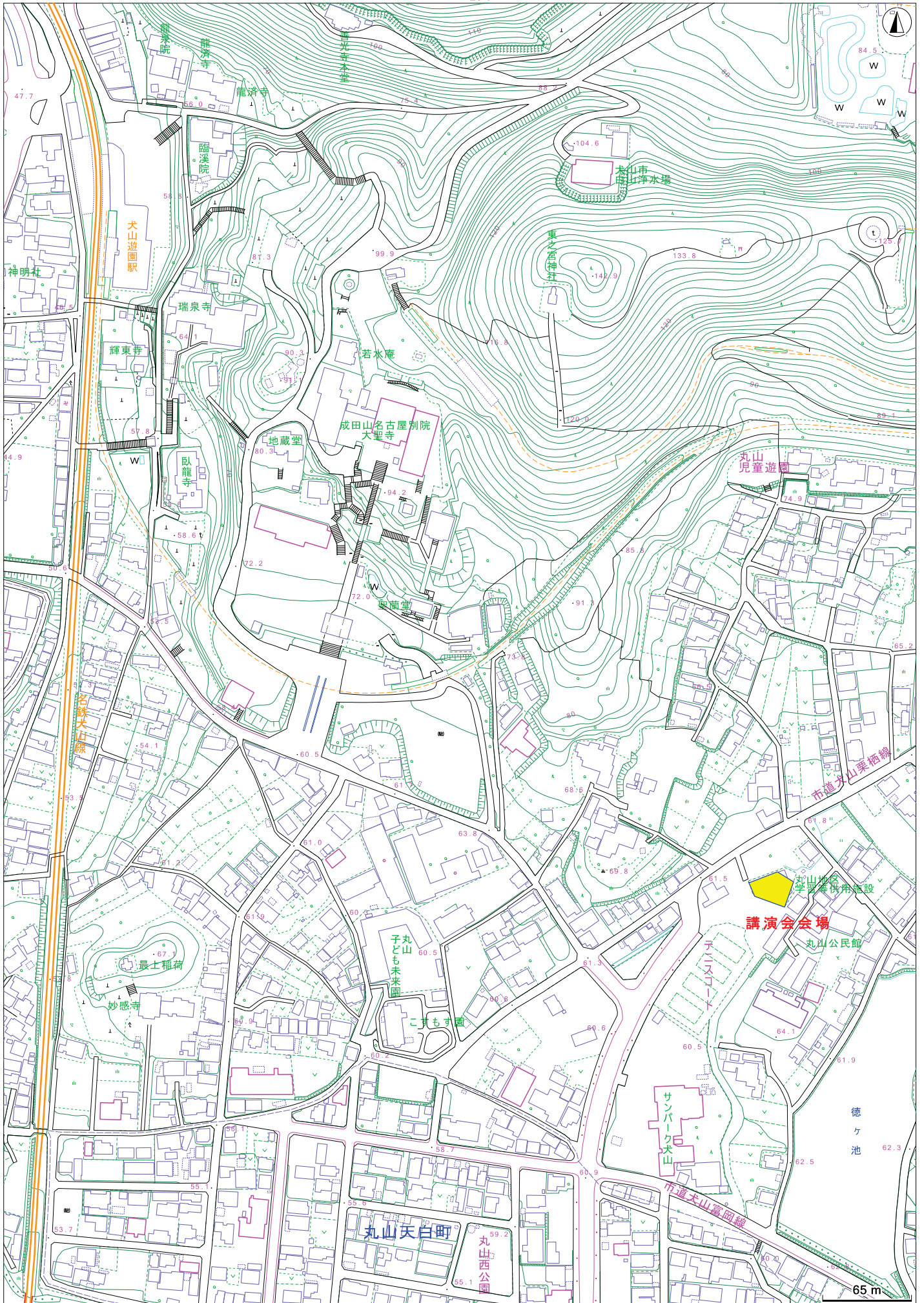
東之宮古墳パネル展 「東之宮古墳に挑む」

昨年度おこなった発掘調査の様子を中心に、昭和48年当時の写真も交えて二度と見ることで見えない荘厳な光景を振り返ります。こちらでもこの機会にぜひご覧ください。

・とき:平成26年1月14日(火)～1月28日(火)
(最終日は午後4時まで)

・ところ:犬山市役所 1階 市民プラザ

史跡東之宮古墳講演会 会場案内図



※駐車場の台数に限りがありますので、お車でお越しの場合は、なるべく乗り合わせていただきますようお願いいたします。